

## 県民提案型協働創出事業 中間報告書

令和8年3月31日現在

実施団体名	INBOUND GUIDE NETWORK AKITA		
取組事業名	観光ガイドのネットワーク形成を通じた秋田のおもてなし向上		
採択年度	令和6年度	採択申込金額 (3年間)	2,800,000円
事業概要			
<p><b>1 地域課題と事業目的</b></p> <p>秋田県内では各エリアで対応する訪日外国人観光客ガイドが増えつつある一方で、ガイド同士の連携が希薄なため秋田県全体への誘客波及効果が低いのが現状である。秋田県全体がワンチームでインバウンド誘客促進を狙うための体制構築およびガイド育成を通じたホスピタリティ向上を目的とするインバウンドガイドチームを形成し、旅行ニーズに応えられる体制づくりを目的とする。</p>			
<p><b>2 事業内容（課題解決の方法）</b></p> <p><b>【1年目】テーマ・ストーリー設定</b></p> <p>《体制構築》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メンバーミーティング（月1回）</li> <li>秋田県内視察とブラッシュアップのワークショップ</li> <li>マーケットリサーチ（国内成功事例）</li> <li>2年目・3年目に向けたガイド勉強会の計画</li> </ul> <p><b>【2年目】先進地視察と落とし込み</b></p> <p>《体制構築》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メンバーミーティング（月1回）</li> <li>情報発信のためのデータベース構築</li> <li>オリジナルロゴとマーチャンダイズの制作</li> <li>コンテンツのモニター企画造成</li> </ul> <p>《ガイド育成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先進地視察計画と実施（国内・海外を想定）</li> <li>ガイド勉強会の実施</li> <li>セミナー実施（講師派遣型）</li> </ul> <p><b>【3年目】可視化と販売</b></p> <p>《体制構築》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メンバーミーティング（月1回）</li> <li>情報発信のためのデータベースの運用</li> </ul> <p>《ガイド育成》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勉強会の実施</li> </ul> <p>《発展的活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外観光商談会参加</li> <li>コンテンツモニター企画実施</li> </ul>			

### 3 実施スケジュール

#### 1年目】2024年10月～2025年3月

	メンバーミーティング（毎月1回）
	マーケットリサーチ（国内成功事例）
11月	秋田県内視察とブラッシュアップのワークショップ
1月	2年目に向けたガイド勉強会の計画
	報告書作成

#### 【2年目】2025年4月～2026年3月

	メンバーミーティング（毎月1回）
4月～1月迄の間	情報発信のためのデータベース構築 セミナー実施（講師派遣型）
5～10月頃	先進地視察計画と実施（国内・海外を想定）
11月	オリジナルロゴとマーチャンダイズの制作
12月	ガイド勉強会の実施 コンテンツのモニター企画造成
1月	報告書作成

#### 【3年目】2026年4月～2027年3月

	メンバーミーティング（毎月1回）
4月～	情報発信のためのデータベースの運用
4月～1月迄の間	海外観光商談会参加（JNTO主催/AUS予定）
4月～12月迄の間	コンテンツモニター企画実施
11月	勉強会の実施
1月	報告書作成

### 4 この事業で見込まれる成果

秋田県内のガイド体制が強化され、秋田県訪問客の増加及び満足度の向上が見込まれる。際立つツアーコンテンツの造成で選ばれる観光地を目指す。また、ガイドにチャレンジしてみたい県内在住者への受入窓口を確立することで機会創出と事業拡大による経済効果を生む。

### 5 主な役割分担と協働

#### <実施団体>

ガイド実働・海外 AGT への営業・コンテンツ造成・ネットワーク形成・PR

#### <行政(県)>

市町村へのヒアリング協力・各種後援 等

#### <協働の取組>

国内・海外における関係機関との連携や秋田県の PR を強化している秋田県観光文化スポーツ部誘客推進課と協働し、具体的にインバウンド客の流れを作りたい。また、海外商談会など直接の機会に秋田県民自らが出向いて英語で PR することは、相手に対して強い説得力があると考えため、魅力発信と秋田県全体のイメージアップに貢献したい。

### 6 この事業の今後の課題と対応方法

#### (1) 課題

秋田県に認定ガイド制度がない。

ガイドがお客様を連れていく受け入れ先観光施設の発掘や事業者のやる気

#### (2) 対応方法

認定ガイド制度については弘前市を参考に実現性の高いものを最終年に少しでも取込む。

県内の観光コンテンツや受け入れ状況の可視化、県主導で行うことと民間主導でできることなど整理するべき。

■担当課室のコメント（誘客推進課）

インバウンド誘客が本県の喫緊の課題である中、本県に来てもらうための情報発信に加え、来訪者の満足度向上やリピーター獲得につながる取組は、両輪で行う必要があると考えている。

本事業によって、各エリアで個々に活動してきたガイドの連携が進んだだけでなく、ガイド自体が、新たな本県の観光コンテンツの一つになっていることは取組の大きな成果である。

今後はガイドを含んだ旅行商品が実売につながるよう、県が海外セールスを行う際に連携を行うほか、県内外の先進事例等を研究し、今後のガイドが自走できる環境等を協働して探り、県内のインバウンド誘客をさらに進めてまいりたい。